Macintosh PCからのネットワークドライブの接続手順について

本文書では、Mac PCから、NAS上で公開されている共有フォルダを、ネットワークドライブとして 割り当て、利用できるようにするための手順を解説します。なお、共有フォルダは、ネットワーク内の コンピュータから認証無しで自由にアクセスできるものとして設定されています。 また、解説中の参考画像はMac OS X 10.6環境にて取得したものです。

1. Finderメニューバーが表示されている状態で、「移動」>「サーバへ接続」を選択します(fig.01)。



2.「サーバへ接続」ウィザードが開いたら、「サーバアドレス」の欄に、"smb://<NASのIPアドレス>"と 入力し、「接続」をクリックします。今回は"smb://192.168.0.203"と入力します(fig.03)。

0 0	サーバへ接続
サーバアドレス:	
smb://192.168.0.203	+ 0-
よく <mark>使</mark> うサーパ:	
(?) 取り除く	(ブラウズ) 接続

fig.02

3. ログイン情報の入力を求められます(fig.03)。

****	サーバ"192.168.0.203"用の名前とパスワードを入 力してください。 ユーザの種類: ○ ゲスト ④ 登録ユーザ
	名前: qnap
	パスワード:
	🗌 このパスワードをキーチェーンに保存
	(キャンセル) 接続



4. 今回はゲストユーザーもログイン可能な"Public"のフォルダに接続するので、ここでは「ゲスト」を 選択して「接続」をクリックします(fig.04)。



fig.04

5. 接続するドライブの選択を求められるので、"Public"を選択して「OK」をクリックします(fig.05)。





6. "Public"フォルダに接続できました。デスクトップにPublicへのショートカットが追加されているので、 ここをクリックすれば共有フォルダにアクセス可能になっています(fig.06)。



7. ここまでの手順で共有フォルダへの接続が完了しましたが、このままでは一度PCを再起動すると 接続設定が解除されてしまうため、再起動後も引き続き共有フォルダを利用するために、PCの起動 時に、自動的に共有フォルダに接続するための設定を行います。 appleメニューまたはDockから、システム環境設定を開きます(fig.07)。



fig.07

8.「アカウント」の設定を開き、「ログイン項目」のタブに移動します(fig.08)。

0	アカウント
▲ ▶ すべてを表示	٩
マイアカウント	パスワード ログイン項目
通常 その他のアカウント	(パスワードを変更)
よ ゲストアカウント 共有のみ	フルネーム:
	MobileMe ユーザ名: 酸定…
	アドレスブックカード: (開く…
	🗌 ユーザにこのコンピュータの管理を許可
	□ ペアレンタルコントロールを適用
🙆 ログインオブション	(*ペアレンタルコントロール*を開く)
+ -	
変更するにはカギをクリ	y/L#¥.



9. 「ログイン項目」のタブで"+"ボタンをクリックし、ログイン項目を追加します(fig.09)。 追加するデバイスの選択画面(fig.10)では、先ほど接続設定した"Public"を指定します。 Mac OS X 10.6の場合、「<ユーザー名>のコンピュータ」の直下に"Public"が存在します。

隠す 項目		種類	
グイン時にアフ	プリケーションを隠してお	おくには、アプリケーション	の横にあ

fig.09



10. ログイン項目として"Public"が追加されました(fig.11)。 PCの起動時には自動的に共有フォルダに接続されます。

📃 🔤 Pul	blic	ボリューム



※ 共有フォルダへの接続を解除したい場合

何らかの理由で、共有フォルダの利用を停止したい場合は、以下の手順を参照してください。

1. デスクトップ上の"Public"をクリックして、反転した状態にします(fig.12)。



fig.12



2. Finderメニューから、「ファイル」>「"Public"を取り出す」を選択すると、接続が解除されます(fig.13)、

3. ログオン設定も解除して、PCの起動時に自動的に共有フォルダに接続しないように設定します。 appleメニューまたはDockから、「システム環境設定」を開き、「アカウント」を選択します。 「ログイン項目」のタブに移動し、"Public"の項目を選択して、"-"ボタンをクリックし、この項目を削除 します(fig.14)。

隠す	項目	種類
	Public .	ボリューム
111	,時にアプリケーションを隠し	ておくには、アプリケーションの横にま

fig.14